ばい煙に関する説明書

事業者名

事業場名

設備名

　令和　　年　　月

連絡先

電話番号

一　設置（変更）しようとする発電設備等の概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事　　業　　者　　名 | |  |
|  | |  |
|  | |  |
| 住　　　　　　　　所 | |  |
|  | |  |
|  | |  |
| ばい煙発生施設の概要 | ばい煙発生施設  番号及び名称 |  |
|
| ばい煙発生施設の  型式 |  |
|
| 蒸発量又は焼却能力 | ―――ｔ／ｈ |
|
| 加熱面積又は  火格子面積 | ―――ｍ２ |
|
| （重　油　換　算） |  |
|
| 発電設備等の番号 |  |
| 発電設備等の出力 | 機関出力　　　　　電気出力　　　　　　　発電電圧 |
|  | 令和　　年　　月 |
| 着工・使用開始予  定年月 | 令和　　年　　月　～令和　　年　　月 |
|

（発電電圧　　　V　発電容量　　　kVA）

（注）　１　ばい煙発生施設番号及び名称の欄には、大気汚染防止法施行令別表第１に掲げる号番号及び名称を記載すること。

　　　　２　ばい煙発生施設がボイラーの場合は、蒸発量を記入すること。

　　　　３　ばい煙発生施設が発電設備又は動力設備の場合は、設備の番号及び出力を記入すること。

二　ばい煙発生施設使用の方法（最大連続時）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工場又は事業場における  施設の名称・番号 | |  |
|
| 排出基準 |  |  |
| ( 規 制 Ｋ 値 ） |  |
|  |  |
|  |  |
| 使用燃料 |  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 排煙条件 | 排出ガス量（湿り） |  |
| 排出ガス量（乾き） |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 排出ガス中の酸素濃度 |  |
| 排出ばい煙 |  |  |
| 硫黄酸化物の濃度 |  |
| 硫黄酸化物の最大  着地濃度 |  |
|
|  |  |
|  |  |
| 窒素酸化物の濃度 |  |
|  |  |
|  |  |
| 参考事項 | この欄には、以下の事項等について記載すること。 | |
| （１）ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設について、一工程中の排出量の変動の状況 | |
| （２）窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法 | |
| （３）１日の標準稼働時間が２４時間に満たない場合の稼働時間 | |
| （４）ガスタービン、ディーゼル機関、ガス機関又はガソリン機関については、常用又は非常用（専ら非常用において用いられるものをいう。）の別 | |
|

三　ばい煙の処理方法

　　　　該当なし

　四　添付図面

　　(1)　事業場の所在地を示す５万分の１の地形図（設置場所を明示する。）

　　(2)　事業場構内配置図（ばい煙発生施設、ばい煙処理設備、煙突の設置場所を明示　　　 する。）

(3)　ばい煙発生施設構造概要図（主要寸法及びバーナーの位置又は、シリンダ径及　　　 び気筒数等を明示する。）

　　(4)　ばい煙処理設備構造概要図（主要寸法、各部名称等を明示する。）

　　備考 １　本説明書のうち一～四について、写しを一部提出すること。

　　　　　２　本説明書の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業

規格Ａ４とすること。

　　　　３　非常用の設備にあっては、以下五～九について添付することを要しない。